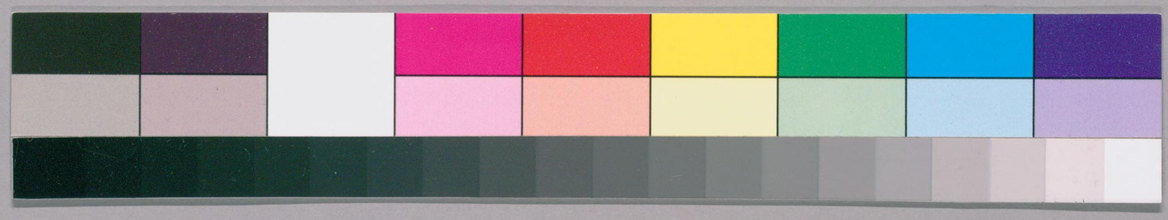


い 2
77

伊勢物語

下

ガラス使用

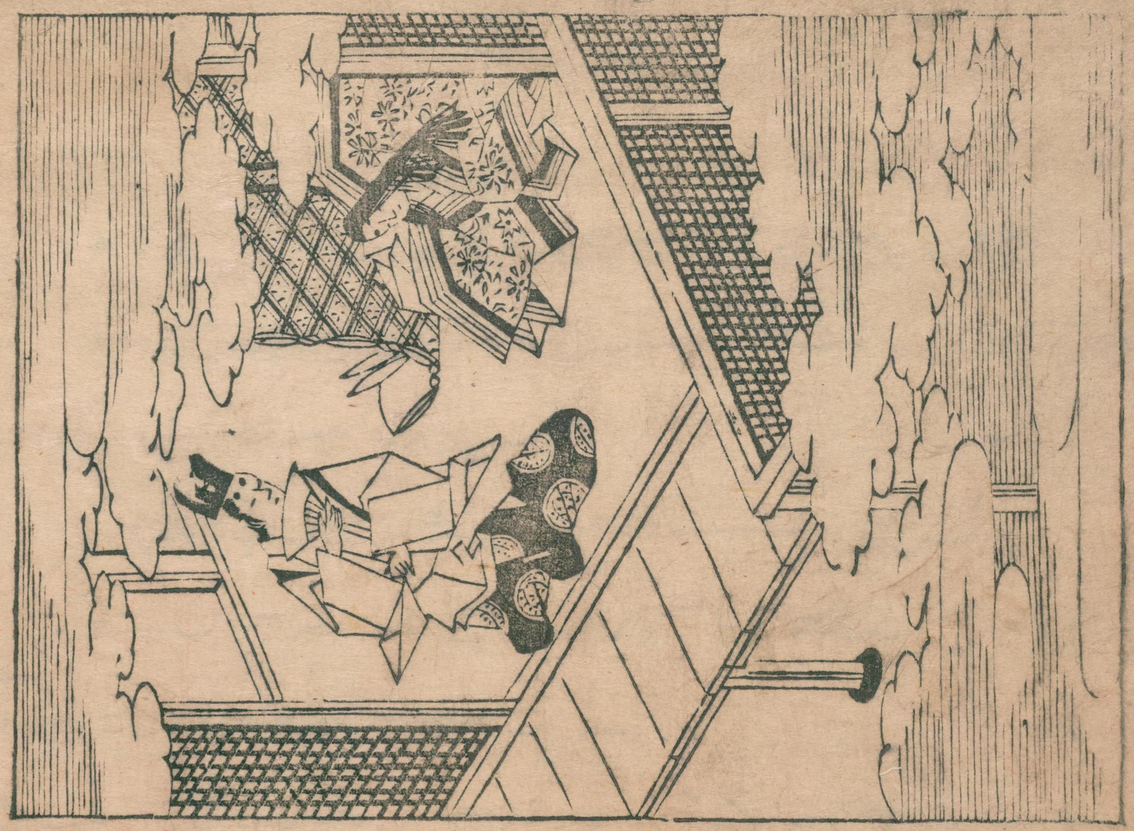
国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』請求記号 い-77
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

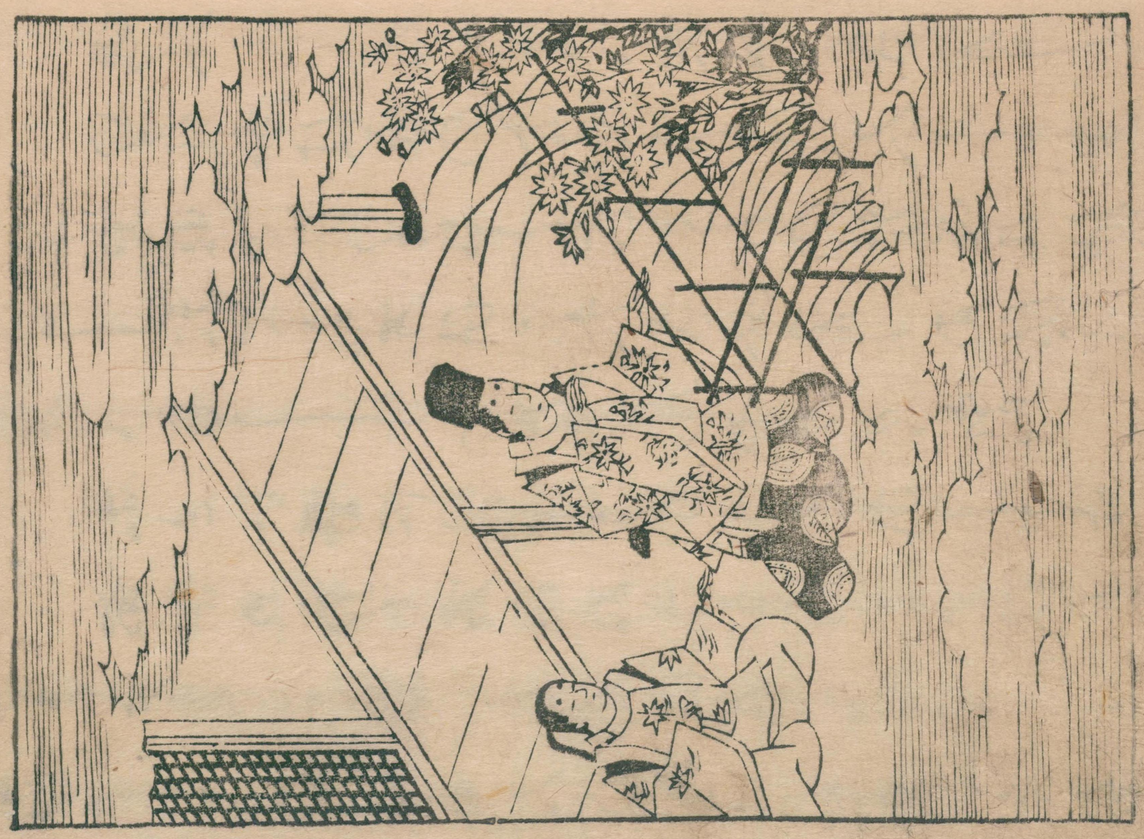
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用

かの袖いくさ乃いほりねとも
くさまくら旅のやとわなけわひ
むしのおとこそ人〳〵まねも乃まひ
ける秋なき人のみと有
思乃ひねのみ先うちもふやとうてよ
我かこゑをもくさむらにつゆの那
者うて旅ねきて以旅ねこのこゑなむとこゝふ
うをかしいと所よいと思つゝわうてをわうり
うこゑのなわかり〳〵敷宮ゐりう有こゝろも

ゐなかとも比のなかなわ
とてこの男諒あり秋乃そ
の志をはやとて旅ますわていりきり
はこ乃男にけておくため
おもよりあまられいく世のまと志
いえけん人乃をとゝ法まも勢ぬ
ゆ比ひてこゝ以言可おもたのそすり
乃神人おとこ
せてお比事あをたる名のう祝なの

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用

にて川たけくすりけるの一うう乃
官人落めこそ方世おふ御とき
にうりうけとらせよさうもそ
ひろ逢いかりうけとわてう
むさうおなわろくよもさな
さ月まつ花よもふふの
すすのいをう神落かうりう
やひひ氣すそなひ
て山月いあてうあろ教

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用

もおもてのたうをなをいふこゝろ
をとこのこゝろは猶てあるへきみえけれはもいと
あはれとおもふ
こゝろやうに我かあふ坂のうきせき
とゝ月日のとまるはわひしなきを
をいひてきぬときゝてとゝせてやりける
かけてたのめつゝちきりぬるんやもこゝす
あり一世心ひとつの歌なんいそんなさけあるむ
男てありけるとそ思へやこゝの

いそくむたくらわもふさてまことなるぬ
かさわをしてこ三人をこひてうわ雪
降りのこゝハふとけなくいふてやこぬ
さふらふなわ猶うき事なをよ妃
いてこんとおもハけるてこよ女
ハやうこと人をいをなさえあ一いうて
この立立中羽なあり猶てしまこと
心ものかわ一おわきけるてうきおの
てこちなてむまれくちをとゝもてからノ

なんおもふといひ
おて袖よりわさその
女おとこのいさよひ
おとこほのかに
まとゝ聞一とせさ
おもほこもしおも
とそいてたつけき
からかもわていゑ
おとこかの女のせ

やう有きのひて

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用

きてをとこはらを
さむしろよれかう
おもひ人にありそ
とよ兄なる妹おとこ
衆をいかり思ひ
をいまるひおもひ
乃人はおもはをも
せぬ心なんありまる

昔おとこみうらにかくれ
り神代のことくなれりけむ
みく風小竹のををふさは
ひとのもとめゆくへきもの
返し
もろともにぬれてをほすあ
大の海のさうひ海もとむへき
むすめおやおほしたてたかうたの
五のことゆうさとうありけりおや

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用

昔おとこ津の国にいきて
あしのやのとをもたちひろき
をのかさまかなきをみて

なにはつをけさこそみつれ
かくれこし
ふしのしたみもあはとこそきけ

二

むかしおとこうるはしき
ことをおもひてあくがれ
ものおもひけるをうるさ
がりてこれねよとてふせ
てねたるのちにいきさ
まかうちのくにあ
るいさわやまに
ゐてゐくもやま
すめーーさよもふけぬ
雲いやへーーろへだ
てきぬるなかの
きみよ雲路よりまひおくれ
花ちやーー坂なる

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用

ぐんとうよりもえたおりて
まやひとめきけまいたる
さるとうる人まれハとは
乃神やもちくまわれ海
それ里とつりあとこと乃
きすわまわ男えたまうま
たを見いつ一そふ
乃ふにちりさえわ一は
人たて豆男いとう我し

スリめていりてまひとはまの
その風にはさはりとものかう産ハぬか
うへわよりめたとりとかなくてねす
なわにまわはとめていりれと力の
人をやる一まりねいとるもと
聞くてきちをまハ何うまて志り
何うりぬのまらくわしとそくはくて
表うー本をや松さんおもかして
ゆへうまは、かれてるとそ

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用

むかし　おとこありけり
ゐなかにすみけり　おほきなるいへのひとつあ
りけるを　はなれてこのわかうどのやとりけ
るに　あるじのむすめのかしづくやうなりけ
り　ねんごろにいひちぎりてあひ
ぬ　さてこのむこがたちこころさはさうして
わたまもり　あるじのつかひ
ものよくいふにまけてこのむこがきにまかでつ
ゝ　ねんごろにいふことはかぎりなしさて
すゞろなるあだくらべにあひそめ
てにけり　といひやるをとこまことにおもひてか
ぎりなくいひちぎりてあひにけり

もとやかう赤乃いの
おほこや人のつまよ
むここ
返志てい
赤の伊き志ま風
ちうやみ

言にとゝこほりなくて女みえ
ゐてとなわのくにへいくよそいてこーう
うらみくれハぬ
おほよとの松ハつらくもなう
うらハてハてもかへるなこう那
音うこよのハありとまてせうこ城ゐ
いつるもものゝぬ女濡あ
めゝハてるまのハとしきれ月のうら乃
かたうみおこときれ

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用

[illegible]男女を併てうたへ
若旅の空ゝさふらひ山下あしたとも
あらぬ日本ぬくとひ
[illegible]おとこいはく海原とをき
あふんとひれ振女
おほよその浜なれや
うしろをなぬかさ
[illegible]ふひてまきてつれあふ
袖ぬきて[illegible]
[illegible]

女

[illegible]
岩まうかみるみ当めり[illegible]
志ほひほみちかひもありな
みおとこ
なんたまそぬきたゝ志介成安乃人
ほうきハうそのしほくか
世ゝ[illegible]かさき女有なん
[illegible]二本乃松きまよ春宮殿みや

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用

ゆかと申すいほうかわてからの
かたにうさよむ人くをみ
ん乃こわさを題乃てまつ
うつてまた雁鴈をきの乃
くるおよおめいたうひふ
山のこなう住里てけ
き風乃力のれをとゝめ
てよこまわけをいまみま
作わ公をそおうへいこ神
やまさまくん

あまをかわけも
むーたうきこと申すお清おり
ーくわう鴈をひてなくをぬかのみわさ
宴祥するにてーくわ右大将ふちりの
て越さとりの人いまうわくわうよみ
をさにまうて折ひてかへさう山ふ乃
き女ーのみこおりまうのやまのさみ
乃古ふみ花おやーかはー雁鴈なとーく
たまーうくはくうれ風にまうて作うて

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用

年こ給ふうえをつみ
くいい海ゐはかうい海ゐ
月きみ〳〵りんとや
うひ行よてうのたまり
せたこのよ海ゐ月ゐ給文ねいて〳〵たて
かわをよやう言一つへのり〳〵て
なをやいあうくき三条落ゐ
時紀落くたの千里乃きまうゐ
ひたも〳〵海きり〳〵そ

遊よの〳〵ちたてまつ遣ひ一かは給ふ人
乃こさう〳〵乃まくへの兄う月りんうわ
一我志こ乃兄たまおきこなわらは
いこをそてまつろんとのおてこみいこん
と称ひとてとわうつかはいくうく
ゐなくてもてまゐこ称いい一きこ一
ふのはへうハますを称ひてよたて
きつ〳〵いすろ方う海ひとて人くく
にう〳〵よ海をゐきのよ衣のむまれうゐあ

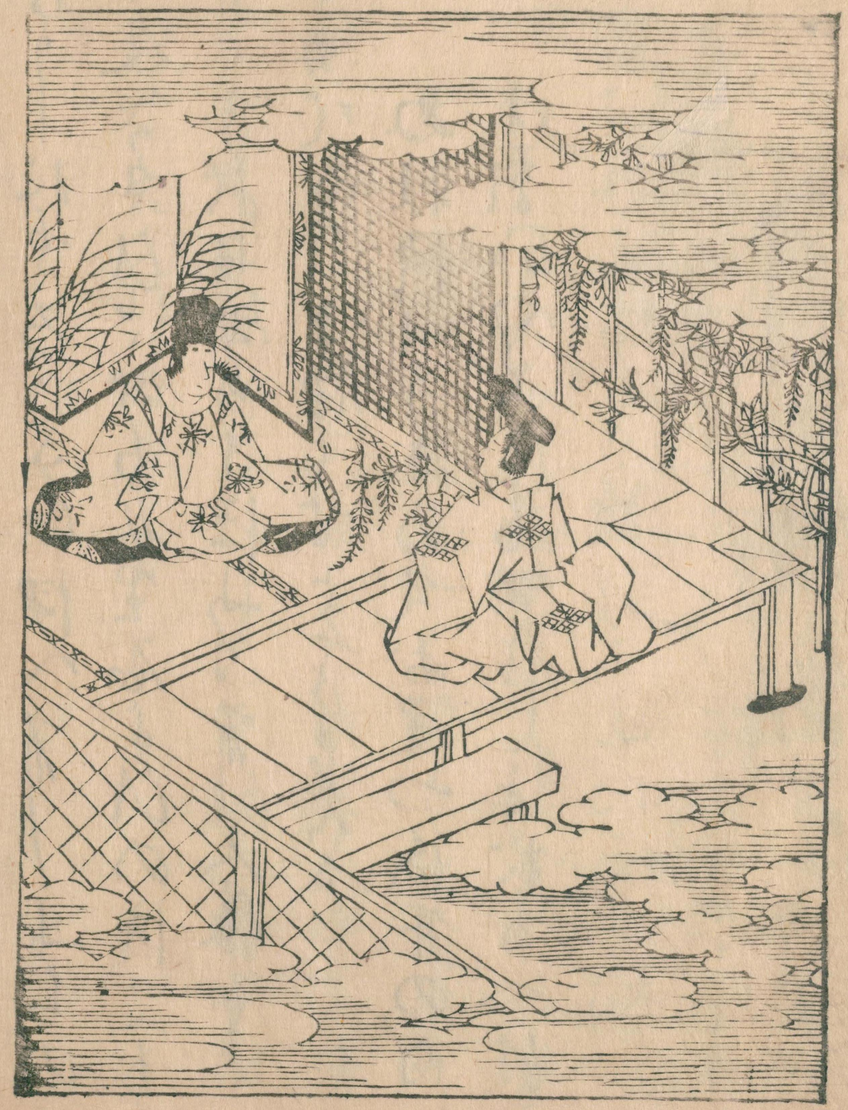
国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用

むつうちのなつに見こう大きへ
ふりはうふやり人くうるへ名わ所
おほちかくさなわ歌なよふのよふ
わの門ふちひ孫ふ風
みたふゆまかく神さるへ
こ神ハはるかひのみことあ北人申将法
とたせいひくるなよ乃申納ゆよひ
のむすえのりうなわ

おりおきろへ有ふちの花
うへうひとおわ里屋よのほこもも
すうよはおめうほみる有人展まへ
おわてそまはうすとそるる
ぬれはくうきめてお里つ年の内に
え氣ハいくうるふしとむるへは

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用



かくまもりけり今かわりけ
るとも
うらみんの
うち本のもとにおもひ
さりてかんの
ものゝ名ぞ
世中にたえてさくらの
それのみ心はのどけ
とあだなるさくらなれ
ちはやぶるかみよもきかず

かへて宮有いる都も
まつさけ乃こゝろのうちわ
みこゝろひていもの折ひなん
月もかゝる神なんとはをハ
乃よの
あつなくにゆきあふ月のかく
山のそにくれいまするもあふ
みこふかハ里たてまつわてきれ
をミふへてみもたいになわん

やかのえなくハ身あいくる攻
むすこ三郎せまかよひしを神たうの
みこれいのまわーありおりまたせも
にうはおうへおふつかうまつまつる
はこ持へて言有うへわ行うわれを
くわーてとくいな鉢やをかもものにおはみ
さまよひ泣くたまりんとそはかえさわわ
なおこのむまのうへんもまとなうあて
はくうとそそひきむをふとものせさ

なよ乃衣とたてまつるのまま
やうへんくるとたハやうひ乃はこもあなわ
まわへこおはしのもてなーー行てけ
里永くーー法くまうてつかうまつる
をおひのほか有ーー泣くおお話ーー
大さうてなりむ月はおかんん
とてをのにまうてる風有ひえの山乃
もとおれい雲ハたうしろ
にはうてくおうんそまるよ法くく

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用

かつかうちとけくてう多ゐて言ゐ
もちゐ一か家法師百とく当有一日く飛
ぬやとりのうたをこやまいかゐ
ゐつ火おほくゐ雨うゐ有一ゐのよ
おとくよゐ

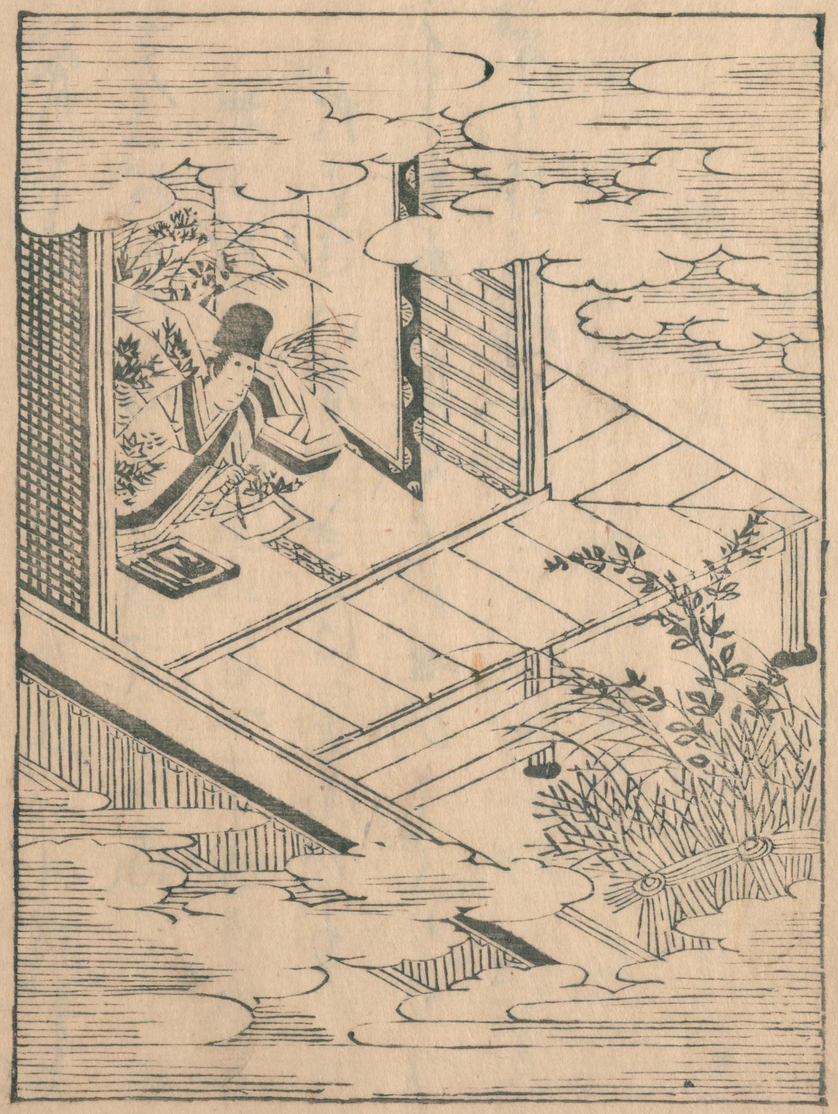
昔ゐ狭法師ゐかゐのかゐ所かも
力ゐゐむうたのお毎乃たくひか
やうゐていゐ不ゐてうゐまこ飛
み乃国毎きてなゐゐとたうゐ一つとめて

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用

うおいも乃女のこすもの
なこころせ〳〵神さ風ひ
ろひ〳〵いもの
ものてきぬかかさ〳〵ら
さにめゆて〳〵はをむ
ー〳〵えりかけ
れたつ海の底かも
きこかた兒まにお
ー〳〵海さをりり
井なの日と乃うて〳〵ていあさ通り
やたらすや

三月つこもりがたに有
おとこもとよりもあくがれ
ゆきもやらぬ春なかめ
ゆくへまでおくりにとて
有あけのつきのいとおかしき
うちをたにき物てよめる
ありつゝもこゝろなくも
おもほゆるかな
ゆきかへりこん
女のかへしおとこ有
人ゆゑにこゝろをつくるなか
ゆきかへりこん
おとこ
ねぬる夜のさ夢にやあるらん
おきてたゞひとりしてよる
ゆめとおくらむ
たえまいりきこゆ
女
ゆめかとよ
やあるけん

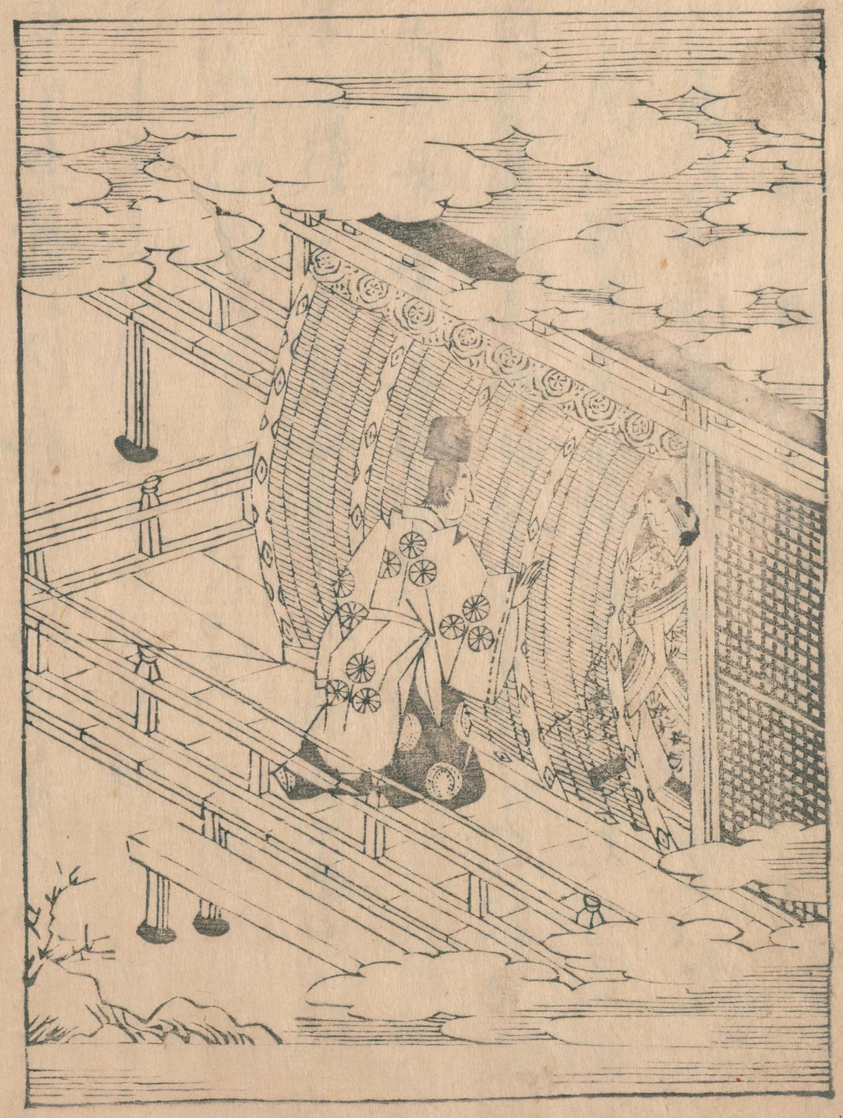


国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用

さかを人をはうこ津
川氣とそろうきてよこ
なのへ有一なんあわやき
秋深草を春日おいこ
かひえよあわやちへきさるん
ねた春よあわ乃氣をん川逃一
ちへのあきはをつ乃をよむれさや
もみらも苑もとめりこうち礼
母の一二条院をきて有つかうまつ川男

あわ乃女の庇かうまつるをつ孫有ひ
かりてよりひ木そあり乃伊うて掲こ三
有たり乃えんしてお保つ川くおひ
津の氣こそすこ一ひ
乃れ女おそ志乃ひてこにとこ
あひよりわもあうわ
ひこは志よういきまさわぬ海の海
更たち所数我乃きまいやそよ
こあうさに次てくなひてうり乃



国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用

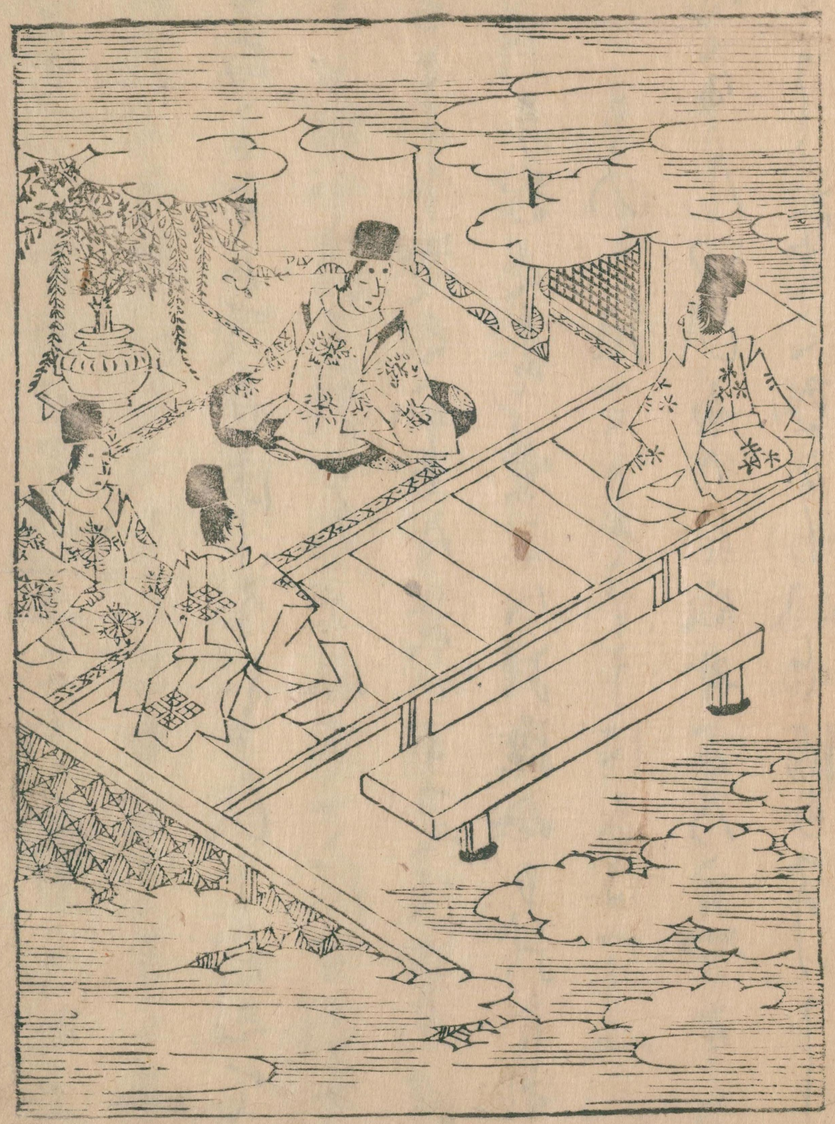
国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用

のこえまつ里にけり

言ふとこゝに後徳成落ちさまの
おもやや訪ことなくなりぬるを
聞きくさ伐――乃ふるさとやいつとて
いこさせ給てわく〳〵袴ハたまふうへ
わけまさる杉ふ原野へと
こゝ――乃ふなわはもたのはゝ人
ゆく――さ無体をわりなるあわれ〳〵のゆふ
ひ〳〵とゝいふおわりふよ人落家乃ふき

さけなわと来てうんにかの女房
おもりのまさもちゝとゝいふ
とこれまて――うゐ日ハまう〳〵た
日ふなをけあん人にそ乃名乃
こせわう乃花のなにあやしきおもち乃花
ふり乃里えふ乃――ふひ三又共すゝわな亀
ま乃数うまをもいりてゝ
六有――のゝかへ〳〵ふ仮ふ
ふとあてきわ乃ふ



国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用

袖乃こひてあ
ふうへまの
逸一まいのおとこ
おもひこう袖ハ
ぬさへふかとき
のハたのもん
やいてのれ神ハおこ
いさのてまきてふ
有いまてあわこ
方世りよ なりおとこと
女をこ勢たわらえて
女法こそなわ名をおや
なんこれはこひはる
ひあるおと

この面ハふしといへ
女有ふそのてうた
かしくふもひおも
男我一面ハ山
ゆよこてやまりれハ
なのへてたやこにぬま
世一女人のをう
関のれハと
まの衣をのかこ

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用

三つ孫のことをそ有りひ
ひ出まおとこ
よのことにうそ侍のおと
おこうまさまおめもの人を守
ひ　おとこともたちの人
ほかもとにやわらぎ
花よりも人こそおさに
侍まさおこひ
苦おやこみうたうよ

かとこもこの男有
はうといへりまた男
思ひおまもうのおの
思ふかく見えハたまむ
むー　おこやむこと
なくなりふらふ
いひやもの
ハきものや
ほと見め人をこふ
おと

さゝれなみの志賀の都はあれにしを
むかしながらの山さくらかな
みつね

ふるさとはさくらももゝに咲にけり
ちれる人をいとふ春風
友則

おもふどちかざしにせんやまたかげに
ちりかゝるまでたれもをらなん
いつのにかきみがりゆかむ
春日野の若紫のすりごろも
しのぶの乱れかぎり知られず
みかきもり衛士のたく火の
夜は燃えひるは消えつゝものをこそ思へ
我身よにふるながめせしまに
はや七十の春は来にけり
おもふどち春の山べにうちむれて
いればかざしの雪と降りつゝ
友則

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用

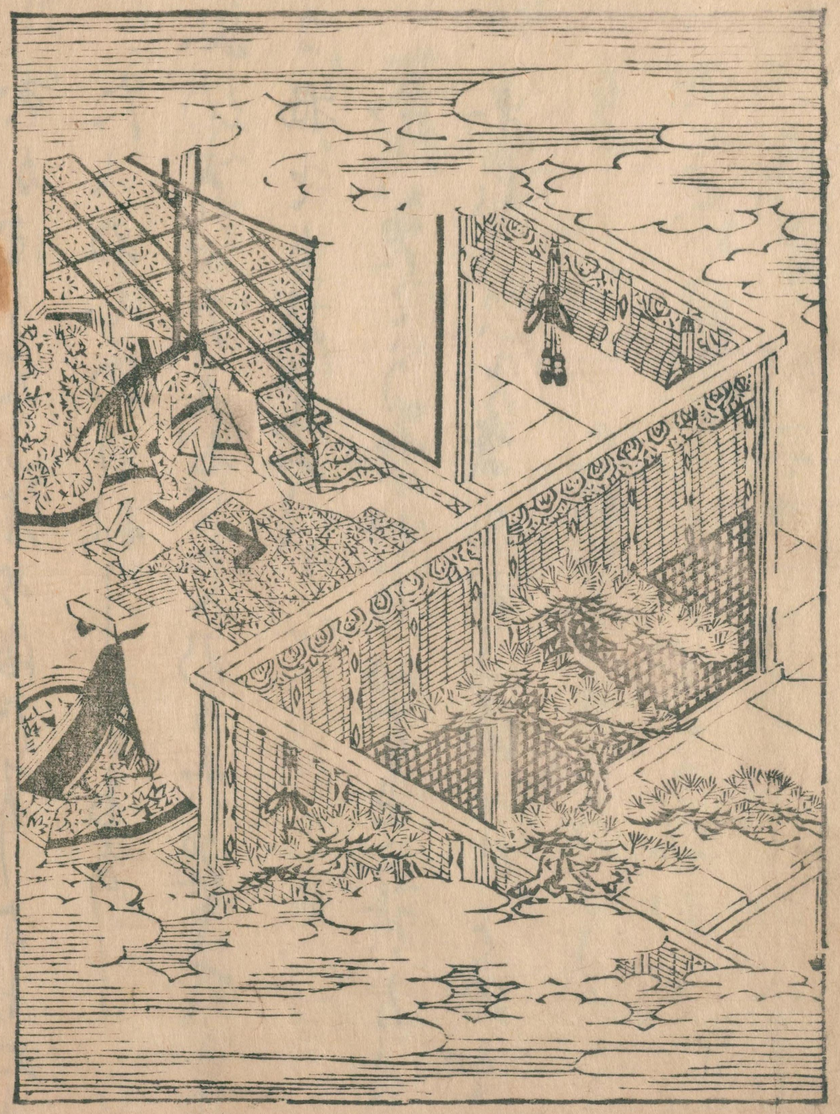
おとこなをひとにとうかわこゝろみむ
ものゝふのやそうぢ河とうたよめりけれ
ともなをあやしとおもひて
よのなかにさらぬわかれのなくもがな
ちよもとなげくひとのこゝろは
となんいひけるをきゝてかのおとこ
いとかなしうてむまのはなむけをたかうなむ
せけるとなんいふ所なりさて

のまの野をこえゆくに
むさしあぶみさしぬきてやらむ
こやこゝまでとおもふほどに
なをかしきところ〳〵をみつゝゆくに
武さのくにとすみだ河といふ大河
をわたるとてみな人ものわびしき
なかまらうどにおもふ人なきひとも
ひとりもこさりけれはすべきかたなく
思ほえけるにさるへきやうなる
ひとのしるもしらぬもかりにあひて
物ひやわらの

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

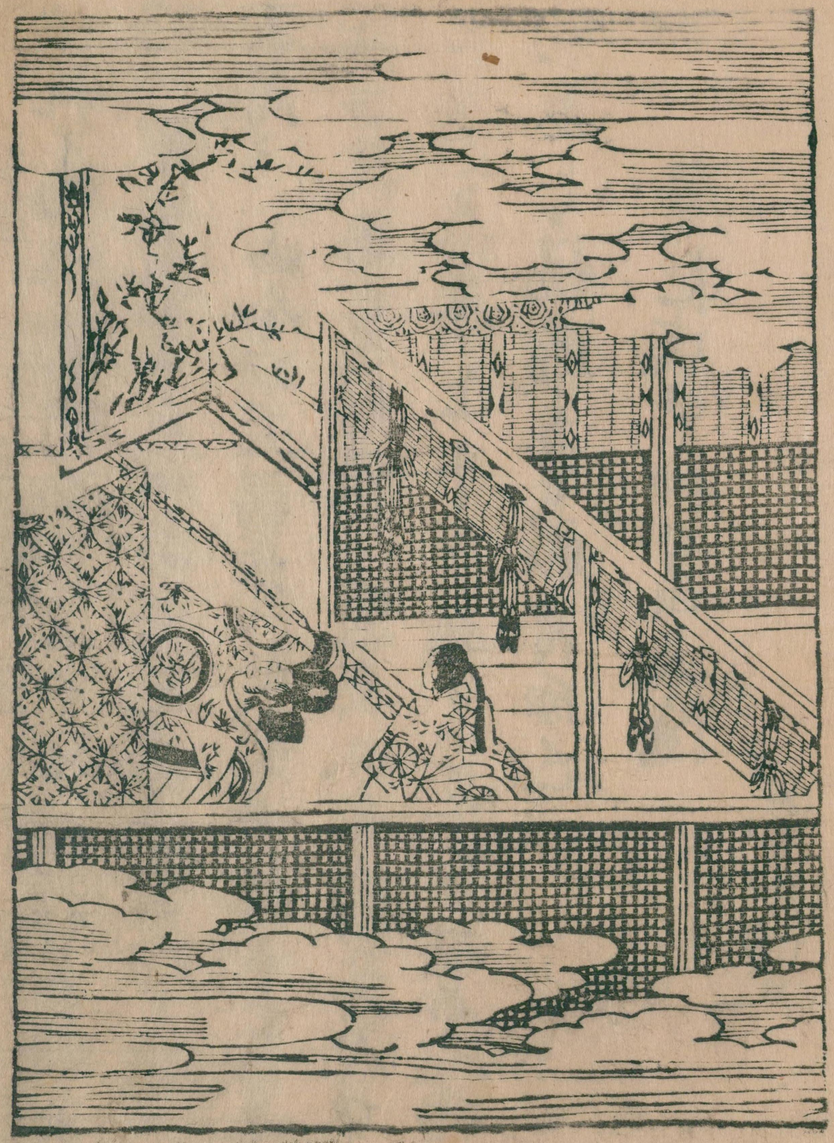
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

ガラス使用

つくしにおきなめてこよのやまいかな
おもひをつけらるほしとやへたつへくもあらん
むかし男ちぎれることありけり
廿三日の月いでて有むかし
たのめつゝこひもなきをなをまつ
ほどしもいたうふけにけり
ふくかぜにこのはのちるをみてもいつ
をかのみくにとなりぬるかな
むかし男ありけり
年をへて住こし里をいでゝいなん
いやことふかくさ野とやなりわたる雁
女返し
野とならばうづらとなりてなきをらん
かりにだにやは君のかれいかさん
ゆくへなくあれなむとおもふ
むかし男ありけり
女のもとに



国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77

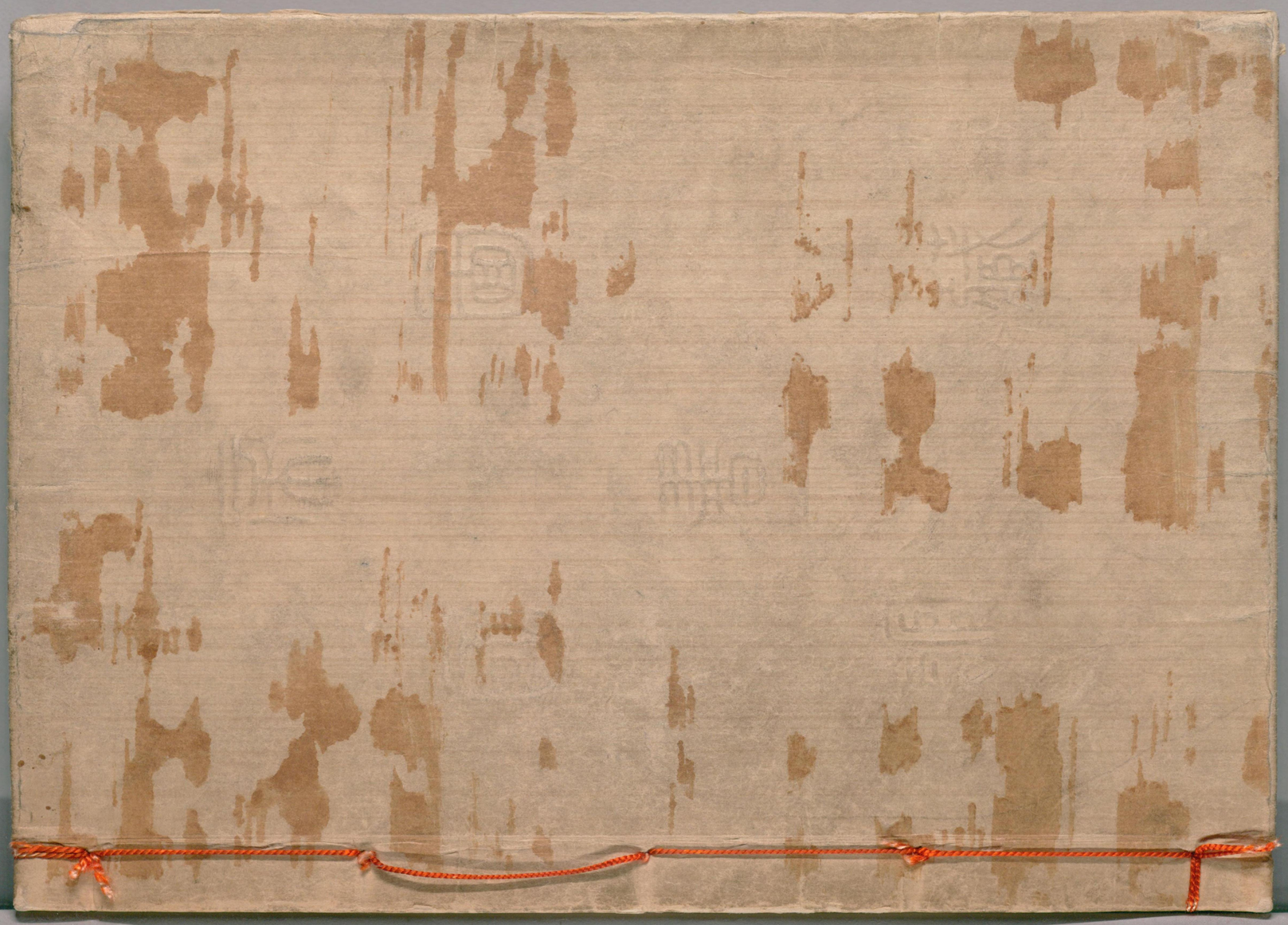
ガラス使用

伊勢物語新刊就余需勘校抑亲校
門一本之奥書云此物語之根源古人之説
不同云如今以天福年本被
校之而於恐之訂校之遂失也更
之説今以為上下皆雖不足
觀為之悦雖童蒙用而已
慶長戊申仲夏上澣

也足哂

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用

い-77
2

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊勢物語 2巻』 請求記号 い-77
ガラス使用